

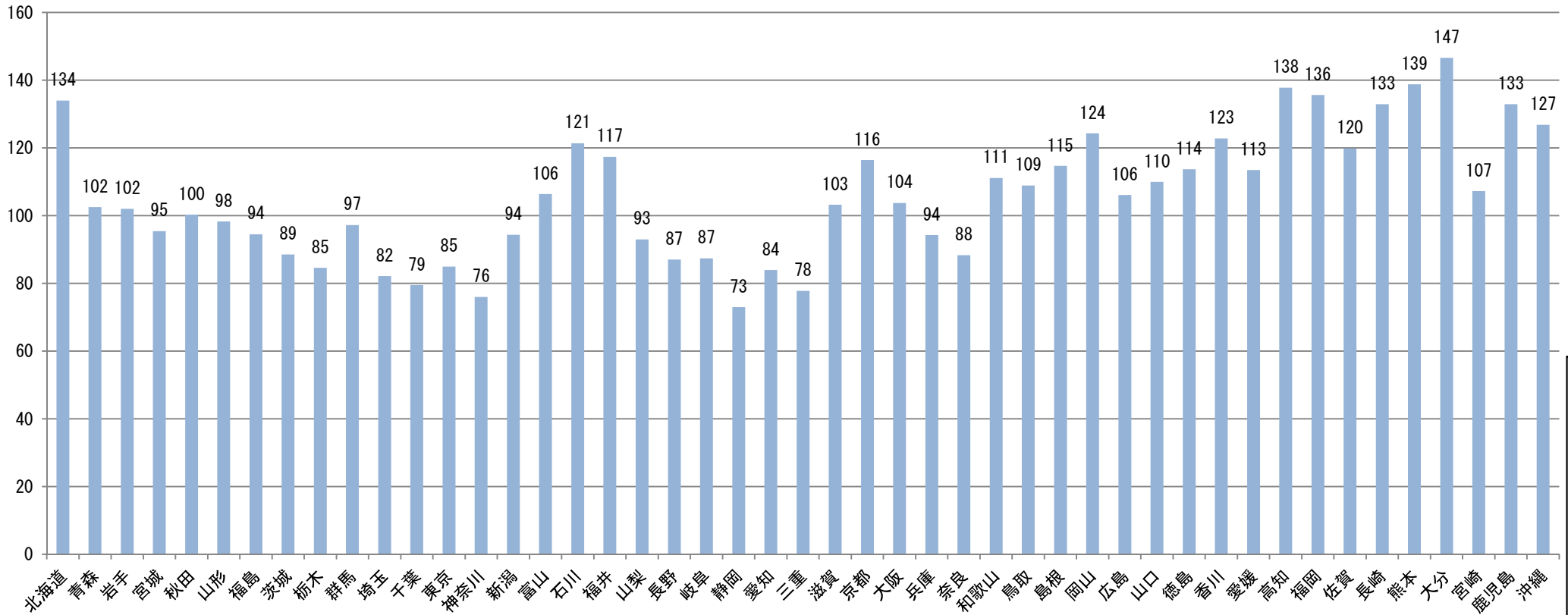
都道府県別の標準化入院受療比

都道府県の入院受療率が、全国平均の入院受療率と比べて高いかどうかを、性・年齢構成の影響を補正して示したものの。都道府県の標準化入院受療比が100より大きければ、全国平均よりも入院受療率が高く、100より小さければ、全国平均よりも入院受療率が低い。

【標準化入院受療比の計算方法（平成23年患者調査、平成24年福島県患者調査、平成23年総務省人口推計調査）】

各都道府県の推計入院患者数 ÷ 各都道府県の期待入院患者数（ \sum [全国の性・年齢別入院受療率 × 各都道府県の性・年齢別推計人口]） × 100

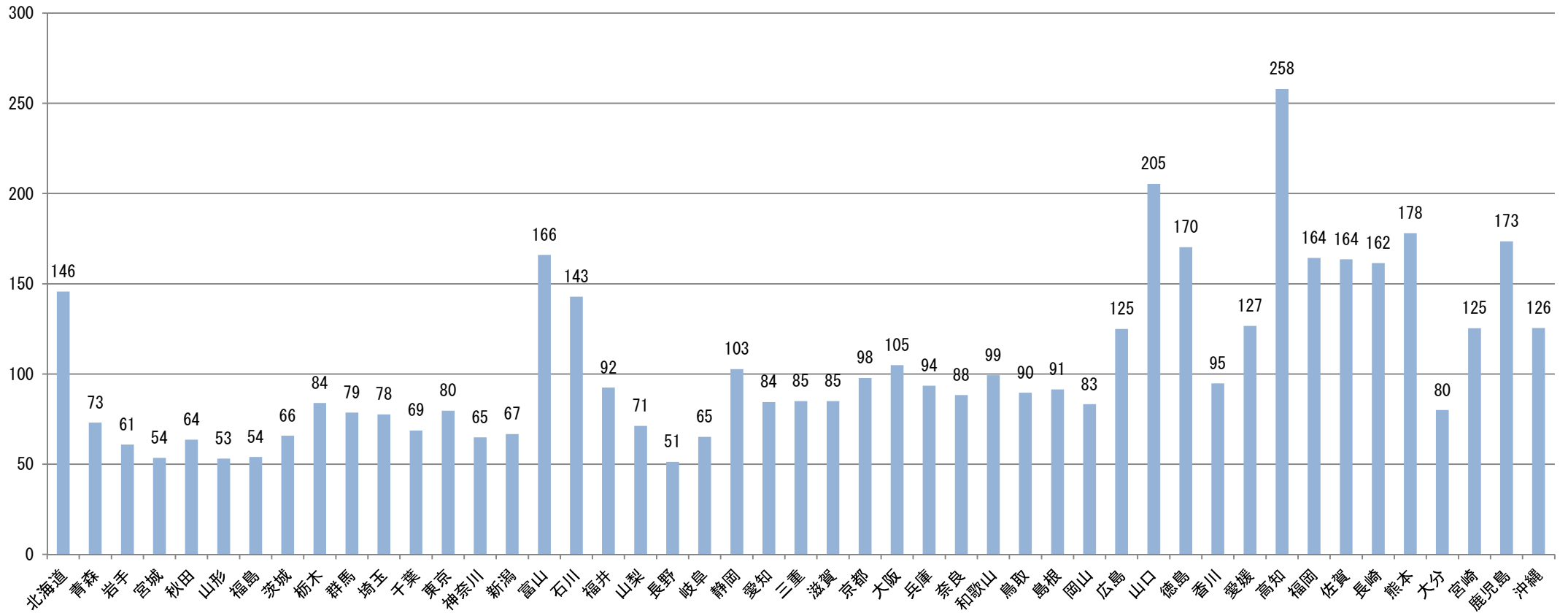
【一般病床】



- 注：1）都道府県の推計入院患者数は、患者住所別に算出したものである。
 2）精神病床、療養病床、感染症病床及び結核病床を除く、一般病床数を表示している。
 3）福島県の数値については、東日本大震災の影響で平成23年患者調査実施しなかったため、平成24年福島県患者調査の結果を用いている。
 4）宮城県については石巻医療圏、気仙沼医療圏を除いた数値である。

第3回地域医療構想策定
 カイブライオン等に関する検討
 資料
 平成26年10月31日
 2

【療養病床】



- 注：1）都道府県の推計入院患者数は、患者住所別に算出したものである。
 2）福島県の数値については、東日本大震災の影響で平成23年患者調査実施しなかったため、平成24年福島県患者調査の結果を用いている。
 3）宮城県については石巻医療圏、気仙沼医療圏を除いた数値である。